

部活動の地域移行について

加西市教育委員会学校教育課

課長 小坂 卓司

1 兵庫県部活動地域移行推進計画

(1) 概要

□背景:

- ①少子化の影響で、従来の学校単位による運営が困難
- ②教員が顧問を務める従来の指導体制は、働き方改革の観点から改善すべき

□趣旨:学校と地域社会が連携・協力の下、持続可能な学校部活動の在り方を目指す。

□目的:中学生がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことのできる環境づくり

◎目標:

- ①「地域移行型」「地域連携型」「地域移行・地域連携ハイブリッド型」の3つの実施型をモデルに地域の実情に応じた実施型を確立する。
- ②休日の部活動においては、希望する教職員の兼職兼業等による指導を除き、原則、教職員が従事しなくても良い環境を整える。

(2) スケジュール

- ・令和5年度～6年度 … 準備期間
- ・令和7年度 … 実証期間
- ・令和8年度～ … 各自治体の実態に合わせて、「地域移行型」「地域連携型」もしくは「地域移行・地域連携のハイブリッド型」の実施

(3) モデルとしての3つのパターン

①「地域移行型」

- ・既存もしくは新設の、地域のスポーツクラブや競技団体・楽団等が全ての責任を負って運営を行う。
- ・学校や教職員から限りなく切り離した形で行われる。

②「地域連携型」

- ・市や教育委員会等が任用した地域人材(部活動指導員)を各学校もしくは拠点となる学校に派遣し、部活動の運営を行わせる。
- ・教職員が兼職兼業の許可を得て、部活動指導員にもなり得る。

③「地域移行・地域連携のハイブリッド型」

- ・各部活動の種目ごとに、「地域移行型」と「地域連携型」に振り分けて、それぞれ運営を行う。
- ・市町の地区(校区)ごとに、「地域移行型」と「地域連携型」に振り分けて、それぞれ運営を行う。

△課題 …… 人材確保、運営資金の財源、大会運営、保護者負担、所属生徒数、トラブル対応、練習場所確保 等 →持続可能な形態であるのか？

2 加西市4中学校の部活動の現状

(1) 各部の部員数

	北条中		善防中		加西中		泉中	
	7月	9月	7月	9月	7月	9月	7月	9月
軟式野球	24	12	21	11	22	15	20	15
バレー 男	25	20	—	—	22	15	14	14
バレー 女	22	15	13	10	—	—	17	13
バスケット 男	28	17	—	—	—	—	—	—
バスケット 女	18	11	13	9	24	14	14	9
卓球 男	—	—	11	10	—	—	12	11
剣道 男	6	2	7	5	16	5	4	2
剣道 女	11	9	5	3	16	13	1	1
テニス 男	36	21	—	—	—	—	—	—
テニス 女	40	28	—	—	23	19	16	14
サッカー	30	20	10	10	22	16	27	20
陸上競技 男	13	8	11	6	22	19	7	3
陸上競技 女	23	15	6	1	16	13	6	5
ソフトボール	22	10	—	—	—	—	—	—
吹奏楽	46	33	15	10	19	13	24	15
美術	44	25	—	—	28	18	—	—

※ 7月…1～3年の部員数 9月…1～2年の部員数

(人)

(2) 部活動指導員

①制度について

- ・教職員以外で、専門性と学校教育に理解のある地域人材を任用し、部活動顧問(教職員)のサポートに当たる。大会等の引率も可能。現状では部活動顧問を置きながらのサポートが原則となっている。
- ・特に、顧問が競技経験が無い部活動に重点的に配置している。
- ・週当たり16時間以内、謝金として1,800円/時。傷害保険に加入。全額市費負担。

②現状

- ・陸上競技:3人
- ・剣道:3人
- ・バスケットボール:1人
- ・ソフトテニス:1人
- ・バレーボール:1人

※ 令和6年11月1日現在 合計 9人

3 他市町と加西市の現状

市町	現状の様子
A	・剣道部をモデルとして実証事業を展開中。市内の体育館等において集合型の合同練習会を実施している。
B	・各部で様々なモデルを想定し、検証を行っている。 (例)吹奏楽部…複数地域指導者プラン、柔道部…拠点校方式プラン
C	・検討委員会を組織し、令和9年度の夏からの実施を目標に計画中。
D	・ガイドラインを策定中。
E	・サッカー、ソフトボール、陸上競技をモデルとした実証研究を実施中。
F	・部活動指導員の確保に努めながら、基本方針を検討中。 ・部活動時間の見直し(短縮・朝練習の制限)
G	・部活動の在り方検討委員会を組織し、令和9年度の夏から部分実施、11年度から完全実施を計画中。
H	・令和8年度夏以降、学校部活動の完全廃止を予定している。 ・外部に部活動運営団体を創設、コーディネーターを任用。
I	・休日の部活動を地域移行型で展開中(7割以上)。 ・部活動指導員を大学生や兼職兼業の教職員を含め100人以上確保。 ・令和8年～9年に平日の地域移行を目指している。
J	・令和8年度からの新しい形での運営を計画中。 ・サッカーのみ地域移行済み、ソフトボールで拠点校方式を検討中。

現状では、いずれの市町でもまだ手探り状態。成功事例と呼べるものはほとんどないのが実です。加西市では、部活動指導員やスポーツ協会の支援を受けて、A市の集合型の合同練習をモデルとして数回実施している。令和7年度には、対象の部活動数を拡大して継続実施の計画を検討しています。